



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2024年3月5日発行

第29号(通巻第305号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

2024春闘 要求を実現しよう!

第二基本給廃止を!



東日本ユニオンに結集しよう!

東日本ユニオンからは新賃金の要求しか受けていないが、新賃金と夏季手当について議論を進めていきたいと考えている。

JR東日本は3月1日、申21号・2024年賃金改定に関する申し入れについて、第1回目となる団体交渉を行いました。

社員・家族が安心して生活できる賃金を!

本部申21号・2024年賃金改定に関する申し入れ 第1回団体交渉

中央本部は3月1日、申21号・2024年賃金改定に関する申し入れについて、第1回目となる団体交渉を行いました。

組合側は所定昇給係数4%を基礎として中長期的に生活設計を立てている。

様々な変革を担ってきた社員の労働力の価値が適正に評価されてきたとは言えない。

職責の重さに見合った処遇や社員の成長意欲に応えることは人事・賃金制度で保障されている。

東日本ユニオンからは新賃金の要求しか受けていないが、新賃金と夏季手当について議論を進めていきたいと考えている。

JR東日本は3月1日、申21号・2024年賃金改定に関する申し入れについて、第1回目となる団体交渉を行いました。



今年度末で国鉄時代から採用された社員の多くが定年退職を迎える。

JR東日本の平均基本給は2019年度から2022年度までで約3300円低下した。

東日本ユニオンからは新賃金の要求しか受けていないが、新賃金と夏季手当などを含めた全体としては増加傾向にある。

組合側の要求に対し社側は「ホーム上家が整備されていない駅及びホーム上家が2両分に満たない駅のホーム除雪について、始発列車到着までに指定された2両分のホーム除雪を行い、日中時間帯にかけて編成両数分の除雪を可能な限り行っている」との回答を行い、今冬期を迎えました。



組合側の要求に対し社側は「ホーム上家が整備されていない駅及びホーム上家が2両分に満たない駅のホーム除雪について、始発列車到着までに指定された2両分のホーム除雪を行い、日中時間帯にかけて編成両数分の除雪を可能な限り行っている」との回答を行い、今冬期を迎えました。

冬期間のホーム除雪について新潟地本はこれまで、安全やサービスの観点から支社側との議論を繰り返してきました。

昨年12月17日から18日にかけて磐越西線ではまとまった降雪となり、乗務員からは17日夜の段階から指令へ除雪の必要性がある旨の情報提供がされていきました。

これらは団体交渉での会社回答に反した実態であり、原因究明と対策が必要であることから新潟地本は2月8日、申20号・磐越西線におけるホーム除雪の徹底を求める申し入れを提出しました。

ホーム除雪の徹底を求め申し入れ

にも、乗務員が行った除雪要請への対応が遅かったとする声が寄せられています。

「昇給係数2%」としたことや賃金改定を見送ったことの影響で、世間動向を示すデータ以上に当社の実質賃金の低下は著しい。

この会社で働くことには誇りを持つことができないうのは、成長軌道へと回帰したにも関わらず満足感を得ることのできない賃金が要因となっている。

高騰による生活苦、賃金引き上げに向けた世間動向や、好調な足元の業績もあり、社員は大幅な賃金引き上げを期待している。